



---

PM1D システムソフトウェア V1.4 追補マニュアル

---



---

# 目 次

---

システムソフトウェア V1.4 の新機能 .....	3
インプットチャンネル/インサートインプットのデジタルゲイン .....	3
【操作手順】.....	5
2TR IN にデジタルゲインを追加 .....	6
インプットチャンネル/ ST IN チャンネルの BALANCE コントロール.....	6
【操作手順】.....	8
ペアのインプットチャンネル/ ST IN チャンネル同士を一時的にモノラルに設定する .....	9
【フロントパネル上での操作手順】.....	10
【画面内での操作手順】.....	11
【モノラル設定時の動作について】.....	11
M/S デコード機能 .....	15
【操作手順】.....	15
トラッキングリコール機能 .....	17
【操作手順】.....	18

CS1Dをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この冊子では、PM1DソフトウェアV1.4で追加/変更された機能について説明します。

## システムソフトウェア V1.4 の新機能

PM1DソフトウェアV1.4で追加された機能/仕様は、次の通りです。

- インプットチャンネル/インサートインプットにデジタルゲインを追加

インプットチャンネル/インサートインプットに、デジタル領域で入力感度を調節するデジタルゲインが追加されました。デジタルゲインは、ADカード、デジタルI/Oカード、2TR IN、GEQ、EFFが割り当てられたインプットチャンネル/インサートインプットで利用できます。

6系統の2TR INにデジタルゲインが追加されました。それぞれの2TR INに入力される信号の感度を、デジタル領域でL/R独立して調節できます。

- インプットチャンネルのPANモードにBALANCEを追加

インプットチャンネルのPANパラメーターが、BALANCEパラメーターに切り替え可能になりました。

奇数/偶数の順に並んだインプットチャンネル同士で、PANパラメーターをBALANCEパラメーターに切り替えて使用できるようになりました。

- ペアのインプットチャンネル/ST INチャンネル同士を一時的にモノラルに設定する機能を追加

ペアに設定されたインプットチャンネル同士やST INチャンネルの信号をモノラル変換できるようになりました。モノラル変換の方法として、L-MONO(奇数チャンネルの信号のみ)、R-MONO(偶数チャンネルの信号のみ)、L,R-MONO(両チャンネルの信号をミックス)が選択できます。

- M/Sデコード機能を追加

MSマイクから入力された2チャンネルの信号をL/Rの信号に変換する“M/Sデコード機能”が追加されました。

- トラッキングリコール機能を追加

シーンをリコールしたとき、各フェーダーの値にあらかじめ設定されたオフセット値を加える“トラッキングリコール機能”が追加されました。

[変更点について]

- PAN/ROUTINGファンクションのCH to MIX画面内のMIXセンドレベルノブとMATRIX/ST ROUTINGファンクションのMATRIXパスへのセンドレベルノブを識別しやすくするため、CS1D上のエンコーダノブの色と合わせMATRIXパスへのセンドレベルノブの表示色を灰色にしました。

- 画面内のエンコーダーノブの回転角度がCS1Dフロントパネル上のエンコーダーノブの角度と同じ位置になりました。そのため指標も変更になっています。

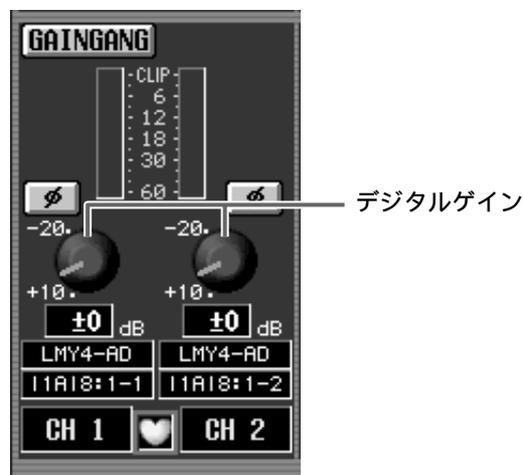
- V1.4でインプットチャンネルのPANモードにBALANCEが追加されたことにより、画面内のエンコーダーのノブ位置表示線をPANは赤(従来と同じ)、BALANCEは白とし、識別しやすくしました。MATRIX/STファンクションのMATRIX/ST ROUTING画面のエンコーダーのノブ位置表示もPANは赤(従来と同じ)、BALANCEは白としました。

## インプットチャンネル/インサートインプットのデジタルゲイン

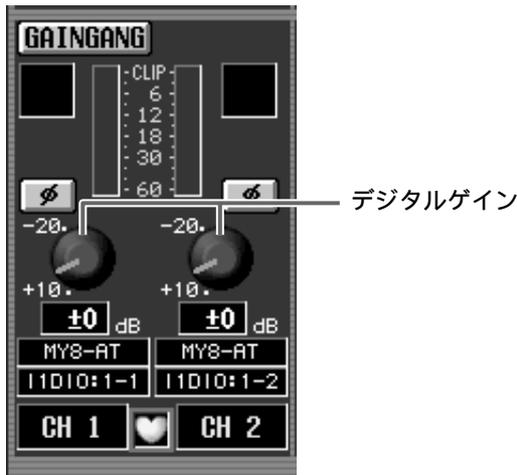
ADカード、デジタルI/Oカード、2TR IN、GEQ、EFFが割り当てられたインプットチャンネル/インサートインプットに、デジタルゲインが追加されました。これを利用すれば、アナログのヘッドアンプを持たないインプットソースに対しても、デジタル領域で入力感度を調節できます。

また、デジタルゲインの追加に伴い、IN HA/INSERT、IN CH VIEW、INPUT UNIT、MONITOR A/MONITOR Bの各画面で、インプットチャンネル/インサートインプットの表示が次のように変わりました。

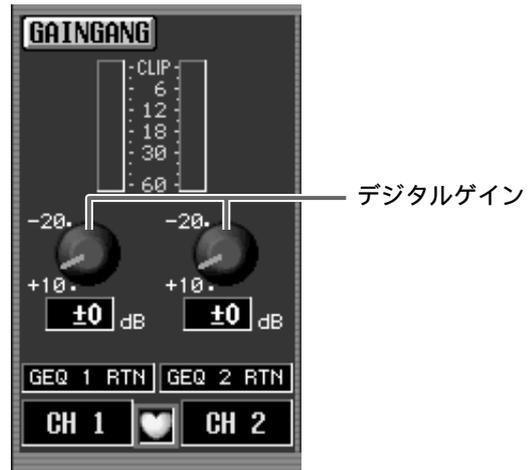
ADカード(LMY4-AD)が割り当てられている場合



デジタル I/O カード (MY カード) が割り当てられている場合

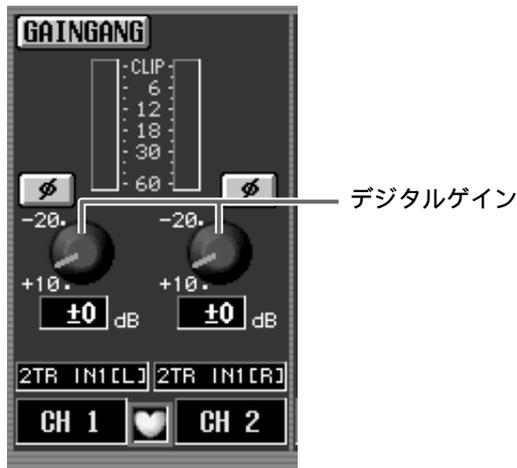


GEQ の出力が割り当てられている場合



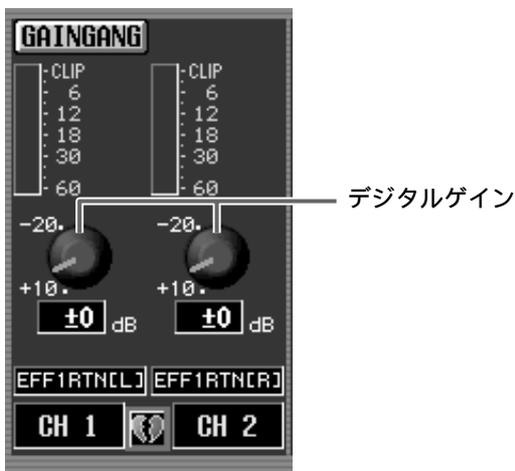
デジタルゲインによる入力感度の調節は、+10dB ~ -20dB の範囲で行えます (-20dB より右には回りません)。

2TR IN が割り当てられている場合



なお、入力チャンネルのデジタルゲインに限り、CS1D の INPUT ブロックにある [GAIN] エンコーダーを使って調節することも可能です。この場合も、入力可能な可変範囲は +10dB ~ -20dB です (-20dB より右には回りません)。内部的には入力感度は -10dB から +20dB へゲイン値は変更されます。デジタル入力をノミナルレベルで入力する場合は画面内の GAIN ノブを 0dB に設定してください。

エフェクトリターンの出力が割り当てられている場合



⚠ インพุットチャンネル / インサートインพุットにマイク / ラインインพุットカード (LMY2-ML) が割り当てられている場合、画面には従来通りアナログの GAIN ノブ (可変範囲 = +10dB ~ -68dB) が表示されます。

⚠ インพุットチャンネル / インサートインพุットに TB (トークバック) が割り当てられている場合、従来通りパネル上の TALKBACK [LEVEL] ボリュームを使って入力レベルを調節します。

- ⚠ インプットチャンネル/インサートインプットに 2TR IN が割り当てられている場合、2TR IN 画面と HA/INSERT 画面のゲイン設定は連動します。それぞれに設定はできません。
- ⚠ 2TR IN を割り当てたインプットチャンネル/インサートインプットのデジタルゲインは、シーンメモリーには保存されません。



インプットカードのデジタルゲインに関する設定は、ユニットライブラリーに保存されます。また、該当するチャンネルで UNIT パラメーターがリコールセーフに設定されている場合、インプットカードのデジタルゲインもリコールセーフの対象となります。

EFF/GEQ のデジタルゲインに関する設定は、シーンメモリーに保存されます。また、該当する内蔵エフェクト/GEQ をリコールセーフに設定した場合、該当する EFF/GEQ のデジタルゲインもリコールセーフの対象となります。

## 【操作手順】

インプットチャンネル/インサートインプットのデジタルゲインは以下の手順で調節します。

1. INPUT PATCH 画面(IN PATCH ファンクション)で、任意のインプットチャンネル/インサートインプットに、ML カードまたは TB 以外のソースを割り当ててください。
2. IN HA/INSERT ファンクションの該当する画面を呼び出してください。

次の図は、インプットチャンネル/インサートインプットに AD カード(LMY4-AD)を割り当てた場合の例です。

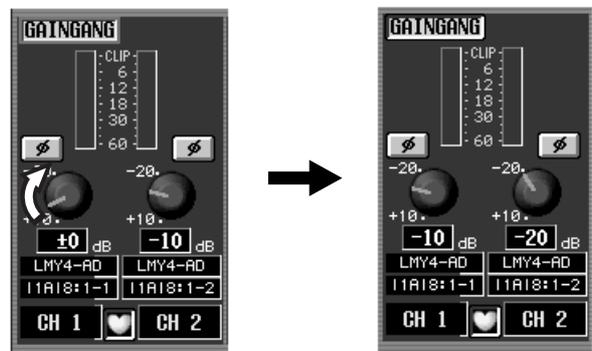


3. 画面内の GAIN ノブにカーソルを合わせ、[ DATA ] エンコーダーを回し、デジタルゲインを調節してください。

インプットチャンネルの場合は、CS1D の INPUT ブロックにある [ GAIN ] エンコーダー、または SELECTED INPUT CHANNEL ブロックの [ GAIN ] エンコーダーを利用することも可能です。

4. 隣り合ったチャンネル同士でゲイン設定を連動させたいときは、GAIN GANG ボタンをクリックして、オンに設定してください。

GAIN GANG ボタンがオンの間、奇数/偶数の順で隣り合ったチャンネル同士で、ゲインの設定が(オフセット値を保ったまま)連動します。

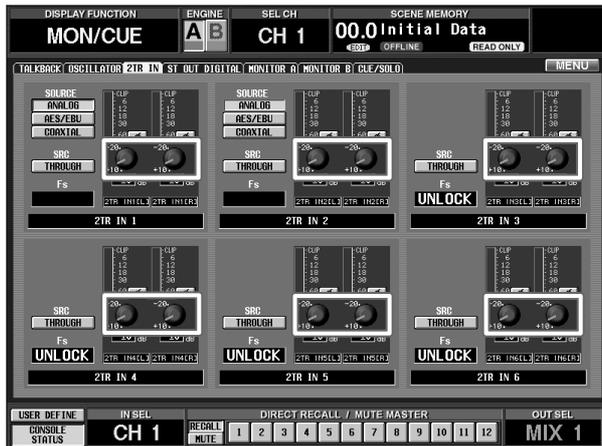


- ⚠ GAIN GANG ボタンを使って、アナログゲインとデジタルゲインを連動させることも可能です。ただし、アナログゲインまたはデジタルゲインのどちらかが可変限界値に達すると、両チャンネルともそれより先には回らなくなります。

## 2TR IN にデジタルゲインを追加

6 系統の 2TR IN に対し、デジタル領域で入力感度を調節するデジタルゲインが追加されました。それぞれの 2TR IN に入力される信号の感度を、L/R 独立して調節できます。

これに伴い、2TR IN 画面 (MON/CUE ファンクション) の表示が次のように変わりました。



2TR IN 1/2TR IN 2 のソースとして ANALOG が選ばれているときでも、デジタルゲインは有効です。この場合は、AD 変換後の感度を調節します。

## インプットチャンネル / ST IN チャンネルの BALANCE コントロール

奇数 / 偶数の順で並んだインプットチャンネル同士、または ST IN チャンネルで、必要に応じて PAN パラメータの代わりに BALANCE パラメータをコントロールできるようになりました。

これを行うには、PAN/ROUTING ファンクションの CH to MIX 画面で、PAN MODE セクションの BALANCE ボタンをオンに設定します。

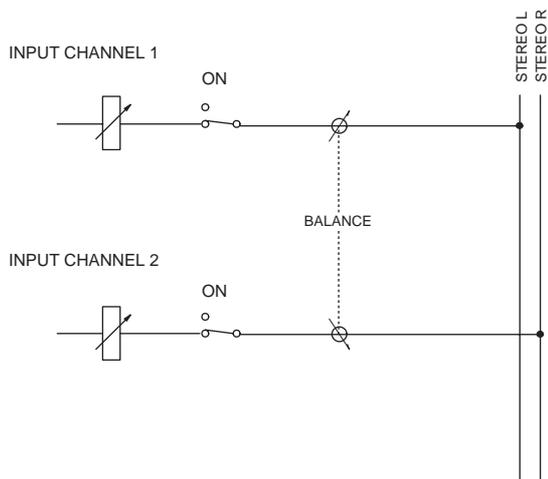


BALANCE ボタン

BALANCE ボタンがオンのとき、その 2 チャンネルから各種のバスに送られる信号の流れは、次のように入ります。

### STEREO バス

STEREOバス送り用のPANパラメータが、BALANCEパラメータに切り替わります (PAN/ROUTING ファンクションの CH to MIX 画面で、PAN ノブの代わりに BAL ノブが表示されます)。



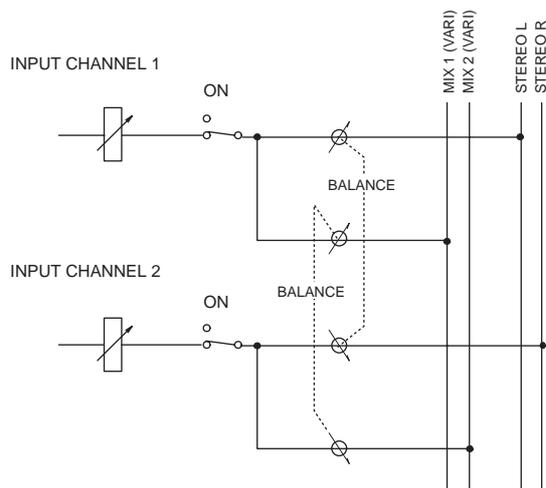
この場合、奇数のインプットチャンネルの信号は L チャンネルのみ、偶数のインプットチャンネルの信号は R チャンネルのみに送られ、各チャンネルの音量を調節する BAL ノブが連動します。

VARI タイプの MIX バス

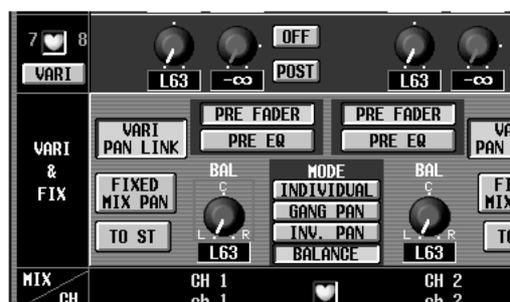
VARI タイプの MIX バスがペアに設定されている場合、MIX バスの PAN パラメーターが BALANCE パラメーターに切り替わります (PAN/ROUTING ファンクションの CH to MIX 画面で、PAN ノブの代わりに BAL ノブが表示されます)。



この場合、奇数のインプットチャンネルの信号は奇数の MIX バスのみ、偶数のインプットチャンネルの信号は偶数の MIX バスのみに送られます。また、それぞれの音量を調節する BAL ノブが連動します。



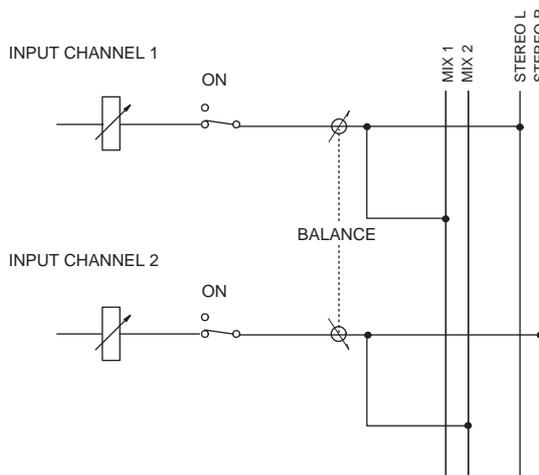
さらに、該当する2チャンネルのどちらか一方でも VARI PAN LINK ボタンがオンの場合、MIX バスの BAL ノブと STEREO バスの BAL ノブが連動します。STEREO バスまたは MIX バスの BAL ノブをいずれか 1 つを操作するだけで、残り 3 つの BAL ノブが連動します。



BALANCE ボタンがオンに設定されていても、MIX バスがペアに設定されていない場合は、そのインプットチャンネルから VARI タイプの MIX バスに送られる信号は影響を受けません。

FIX タイプの MIX バス

PAN MODE が BALANCE に設定された 2 チャンネルで、どちらか一方でも FIXED MIX PAN ボタンがオンの場合、該当するインプットチャンネルから BALANCE パラメーターを通過した信号が FIX タイプの MIX バスへと送られます。このとき、奇数のインプットチャンネルの信号は奇数の MIX バスのみ、偶数のインプットチャンネルの信号は偶数の MIX バスのみへと出力されます。





BALANCE ボタンがオンに設定されていても、両チャンネルのFIXED MIX PAN ボタンがオフのときは、そのインプットチャンネルからFIXタイプのMIXバスに送られる信号は影響を受けません。

その他、PAN MODEのBALANCE ボタンがオンのときは、次のように動作が変化します。

BALANCE ボタンをオンに設定した2チャンネルのうち、一方のチャンネルをチャンネルライブラリーに保存する場合、たとえペアに設定されていなくても、もう一方のチャンネルではPAN MODEの設定が保存されます。

チャンネルライブラリーからデータをリコールするときに、リコール元とリコール先とでPAN MODEの設定が異なる場合、PAN MODE や PAN の値はリコールされません。ただし、リコール先がペアに設定されている場合に限り、PAN MODE と PAN の値がリコールされます。

チャンネルデータをコピーする場合、コピー元とコピー先とでPAN MODE の設定が異なる場合、PAN MODE や PAN の値はコピーされません。ただし、コピー先がペアに設定されている場合に限り、PAN MODE と PAN の値がコピーされます。

チャンネルライブラリーリコール時やチャンネルコピー時に、リコールやコピーされない方のチャンネルのPANモードがBALANCE、VARI PAN LINKがオン設定の場合、リコールやコピーを行うとチャンネル間のTO ST値とMIX BALANCE 値の不一致が出ることを避けるためMIXのBALANCE 値がTO STのBALANCE 値と同じになります。

シーンメモリーからシーンデータをリコールするとき、片方のチャンネルがリコールセーフに設定されているために、偶数 / 奇数のインプットチャンネルでPAN MODEの設定が食い違う場合、PAN MODE や PAN の値はリコールされません。

MIX センドがリコールセーフに設定されたインプットチャンネルでは、MIX センドのPAN/BALANCE もリコールセーフの対象となります。このため、リコール元とリコール先でPAN MODEの設定が食い違っていると、PAN MODE や PAN/BALANCE の値がリコールされなくなります。

PAN MODE がBALANCE、MIX センドがリコールセーフに設定されたインプットチャンネルでは、“PAN MODE = BALANCE、VARI PAN LINK = オン”のシーンをリコールするときに、STEREOセンドのBALANCEの値はリコールされますが、MIX センドのBALANCE はリコールセーフの対象となります。このままではSTEREOセンドとMIXセンドのBALANCEの値が食い違ってしまう恐れがあるため、VARI PAN LINK は強制的にオフに切り替わります。PANパラメーターのフェード機能SCENEファンクションのFADE TIME画面にあるINPUT CH PANNINGは、BALANCE ボタンがオンのときにも利用できます。ただし、奇数 / 偶数の両チャンネルで、INPUT CH PANNINGを有効にする必要があります。

PANパラメーターのフェード機能を実行中に、PAN MODE がPANからBALANCEに切り替わった場合(またはその逆の場合)そのチャンネルではPANパラメーターのフェード機能が中断されます。

### 【操作手順】

インプットチャンネル / ST INチャンネルのBALANCEパラメーターは以下の手順で操作します。

1. PAN/ROUTING ファンクションのCH to MIX画面を呼び出してください。
2. VARI & FIX欄で、奇数 / 偶数の順で並んだインプットチャンネル同士、またはST INチャンネルのTO STボタンをオンに設定してください。
3. PAN MODE欄で、該当するチャンネルのBALANCEボタンをオンに設定してください。

画面内のPANノブ(位置表示線が赤色表示)がBALノブ(位置表示線が白色表示)に変わり、バランスパラメーターとして機能します。



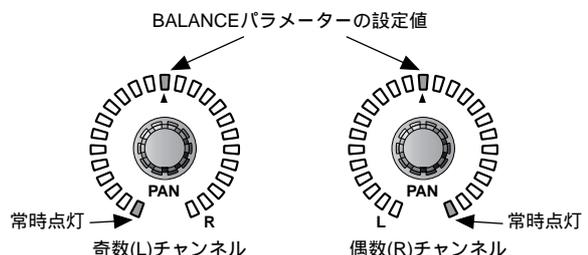
インプットチャンネル同士をペアに設定しなくてもBALANCEパラメーターは有効です。

4. どちらか一方のBALノブにカーソルを合わせ、[DATA]エンコーダーを回してBALANCEパラメーターの値を設定してください。

両方のチャンネルのBALノブが運動します。



なお、BALANCEパラメーターは、CS1Dのフロントパネル上のINPUTブロックの[PAN]エンコーダー、またはSELECTED INPUT CHANNELブロックの[PAN]エンコーダーを使ってコントロールすることも可能です。このとき、[PAN]エンコーダーの周囲のLEDは次のようになります。

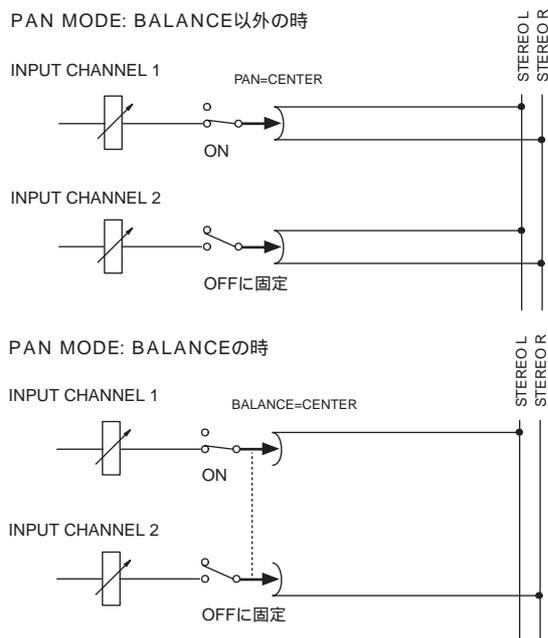


## ペアのインプットチャンネル / ST IN チャンネル同士を一時的にモノラルに設定する

ペアに設定されたインプットチャンネル同士、またはST IN チャンネルの入力信号を一時的にモノラルに設定することが可能となりました。設定方法として、次の3つが選択できます。

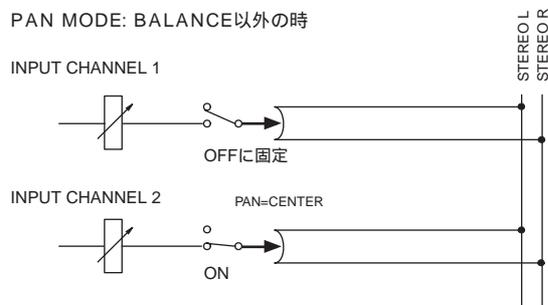
### L-MONO に設定

ペアが組まれたまま、奇数チャンネルのみの一時的にモノラル信号となります。偶数チャンネルの[ ON ]スイッチが強制的にオフになり、奇数チャンネルのPAN( BALANCE )は中央の位置に設定されます。

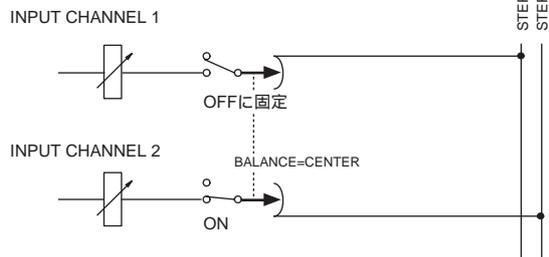


### R-MONO に設定

ペアが組まれたまま、偶数チャンネルのみの一時的にモノラル信号となります。奇数チャンネルの[ ON ]スイッチが強制的にオフになり、偶数チャンネルの PAN( BALANCE )は中央の位置に設定されます。



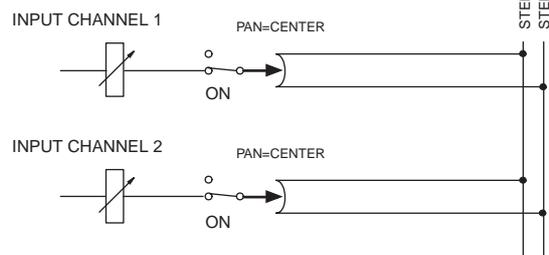
PAN MODE: BALANCEの時



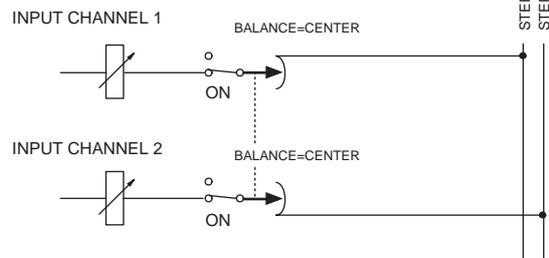
### LR-MONO に設定

ペアが組まれたまま、両チャンネルの信号が一時的にモノラル信号となります。両方のチャンネルの PAN( BALANCE )は中央の位置に設定されます。

PAN MODE: BALANCE以外の時



PAN MODE: BALANCEの時



⚠ L-MONO または R-MONO の設定を選んだ場合でも、強制的にオフになったチャンネルのパラメータを変更することは可能です(ただし、[ ON ]スイッチは、L-MONO もしくは R-MONO 設定を解除しない限りオフに固定され、設定を変更することはできません。)

⚠ LR-MONO 設定への切り替えをフロントパネル上の操作で行える、新たなプリファレンス設定、[ L R-MONO SELECT ON PANEL ] を UTILITY ファンクションの PREFERENCE 画面に追加しました。

⚠ また、PAIR と MONO の切り替え操作は常時フロントパネル上で可能でしたが、新たにプリファレンス設定、[ PROHIBIT PAIR CHANGE ON PANEL ] を UTILITY ファンクションの PREFERENCE 画面に追加し、フロントパネル上の切り替え操作を有効 / 無効に設定できるようになりました。

## 【フロントパネル上での操作手順】

フロントパネル上の操作で、ペアのインプットチャンネル同士 / ST IN チャンネルを一時的に以下の手順でモノラルに設定します。

1. UTILITY ファンクションの PREFERENCE 画面を呼び出し、L R-MONO SELECT ON PANEL のボタンをオンにしてください。

これで、パネル上の操作でステレオ モノラルの一時的な切り替えが行えるようになります。



2. 奇数 / 偶数の順で並んだ任意のインプットチャンネル同士をペアに設定してください。
3. フロントパネル上の [SEL] スイッチと [SHIFT] スイッチを使って、一時的にモノラル設定する方法を次の3つから選んでください。
  - ・ [SHIFT] スイッチを押しながら 奇数(L)チャンネルの[SEL] スイッチをしばらく押す ..... L-MONO に設定
  - ・ [SHIFT] スイッチを押しながら 偶数(R)チャンネルの[SEL] スイッチをしばらく押す ..... R-MONO に設定
  - ・ [SHIFT] スイッチを押しながら 両チャンネルの[SEL] スイッチをしばらく押す ..... LR-MONO に設定

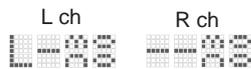
上記の[SHIFT]スイッチはSELECTED INPUT CHANNELブロック、SELECTED OUT CHANNELブロックの各CHANNEL SELECT セクションの [SHIFT] スイッチ、あるいはデータエントリーブロックの [SHIFT] スイッチのいずれでも有効です。

また、一時的なモノラル設定から別の一時的なモノラル設定に変更する手順も上記と同じです。

パネル上のINPUT[NAME] インジケータにオンに設定されたチャンネルのネームと一時的なモノラル設定ネームが交互に点滅表示されます。オフになったチャンネルのINPUT[NAME] インジケータにはチャンネルネームが薄く表示されます。DCA フェーダーにこれらのチャンネルを呼び出したときも [NAME] インジケータ表示は同じようになります。モノラル設定時の動作の詳細はP11をご覧ください。

- ・ネームインジケータ

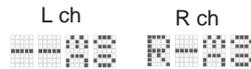
L-MONO 時の表示:



L ch: とチャンネルネームの交互表示 (明るさは ON/OFF の状態になる)

R ch: とチャンネルネームの交互表示 (暗く表示)

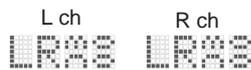
R-MONO 時の表示:



L ch: とチャンネルネームの交互表示 (暗く表示)

R ch: とチャンネルネームの交互表示 (明るさは ON/OFF の状態になる)

LR-MONO 時の表示:



L ch: とチャンネルネームの交互表示 (明るさは ON/OFF の状態になる)

R ch: とチャンネルネームの交互表示 (明るさは ON/OFF の状態になる)

4. 一般的なモノラル設定の解除は、手順3と同じ組み合わせのスイッチを押します。

一般的なモノラル設定が解除され、PAN (BALANCE) はペアに設定されていたときの位置に戻ります。

- ⚠ MIX センドの PAN 設定(または BALANCE 設定) は TO ST と同じ位置に設定されます。



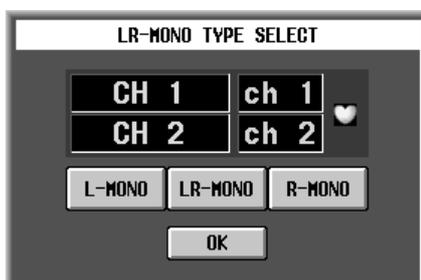
誤操作を防ぐために、[SEL] スイッチを使ったペアの設定 / 解除を禁止することも可能です。これを行うには、PREFERENCE 画面で PROHIBIT PAIR CHANGE ON PANEL のボタンをオンにします。

## 【画面内での操作手順】

画面内の操作で、ペアのインプットチャンネル同士 / ST IN チャンネルを一時的に以下の手順でモノラルに設定します。

1. 奇数 / 偶数の順で並んだ任意のインプットチャンネル同士をペアに設定してください。
2. IN HA/INSERT ファンクションなどのハートマークがある画面を呼び出し、一時的にモノラル設定したいチャンネルで、ペア / ステレオを表すハートマークをデータエントリーブロックの [SHIFT] スイッチを押しながらクリックしてください。あるいはハートマークにカーソルを合わせ、[SHIFT] スイッチを押しながら [ENTER] スイッチを押してください。

次のポップアップウィンドウが表示されます。



- ⚠ 画面内で一時的にモノラル設定する操作に有効な [SHIFT] スイッチはデータエントリーブロックの [SHIFT] スイッチのみです。



[SHIFT] スイッチを押さずにクリックした場合は通常のペア / モノラルの切り替え操作になります。

3. 希望するボタンにカーソルを合わせ、[ENTER] 押を押してください。[ENTER] 押を押した瞬間に設定されます。

各ボタンの意味は、次の通りです。

**L-MONO** ..... L-MONO に設定します

**R-MONO** ..... R-MONO に設定します

**LR-MONO** ..... LR-MONO に設定します

上の3つのボタンのいずれもオンにされていない場合、ペアになります。

モノラル設定後は、ハートマークが次のように変化します。



L-MONO



R-MONO



LR-MONO



通常の  
PAIRの状態



ペアでないチャンネルのハートマーク上で [SHIFT] スイッチを押しながら [ENTER] スイッチを押しても同様のポップアップ画面が表示されますが、L-MONO/R-MONO/LR-MONO は選択できません。

4. 一時的に設定したモノラルを解除するには、上記のハートマークをもう一度 [SHIFT] スイッチを押しながらクリックして手順 3 で選んだものと同じボタンを押し、OK を押してください

モノラルが解除され、PAN (BALANCE) がペアされていたときの位置に戻ります。



別のボタンにカーソルを合わせて [ENTER] スイッチを押すと、一時的にモノラル設定するチャンネルの切り替えが可能です。

また一時的にモノラル設定されていても従来通り PAIR 解除できます。

## 【モノラル設定時の動作について】

L-MONO R-MONO ,あるいはLR-MONO に一時的にモノラル設定した場合、各動作の詳細は以下です。

- 一時的にモノラル設定されたインプットチャンネルはL-MONO ,R-MONO ,LR-MONO ,ペア解除 / ペアのいずれにも設定を変更することができます。ただし、ST IN チャンネルの入力信号をモノラル (ペア解除) に設定することはできません。
- 一時的にモノラル設定後、ペアに戻る場合、PAN の設定および PAN モードはペア設定時の PAN/BALANCE の位置に戻ります。
- インプットチャンネル信号をMIXバスへ送るときは、L-MONO/R-MONO/LR-MONO のいずれの一時的なモノラル設定でも通常のモノラル (ペア解除) と同じ動作をします。

ただし、ST INチャンネルでL/R個々に設定していないCUE オン / オフとリコールセーフは、LR-MONO 設定であってもペアで連動 / 非連動となります。

ST IN チャンネルは一時的なモノラルの設定に関係なく常にこれらのパラメータは連動します。

- インプットチャンネルの STEREO バス送りの PAN モードがBALANCEの時、MIX バスがペア、かつMIX バスのタイプがVARIの場合、MIX バスのPAN モードも BALANCE となります。

(BALANCE の値は個別に設定可能です。)

ただし、チャンネルを一時的なモノラル設定からペアにした場合、MIX バスのPAN の位置はチャンネルがペア設定時の STEREO バスの PAN/BALANCE と同じ位置に戻ります。

- パネル上の SELECTED INPUT CHANNEL ブロック、CHANNEL SELECT の MONO インジケータ、PAIR インジケータは、L-MONO/R-MONO/LR-MONO のいずれに一時的なモノラル設定した場合でも、MONO と PAIR の両方のインジケータが点灯します。それ以外の表示はソフトウェアバージョン V1.3 と同じです。

- 一時的にモノラル設定したチャンネルコピーはペアチャンネル同士で行えます。一時的にモノラル設定したチャンネルへのチャンネルコピーは L-MONO/R-MONO/LR-MONO/PAIR のチャンネルからのみ行えます。一時的にモノラルにしたチャンネルからモノラルチャンネルへのコピーはできません。
- 一時的にモノラル設定したチャンネルでは、パネル上のLCD FUNCTION ACCESS[CH VIEW]スイッチで表示させる CH VIEW 画面での表示は、MONO表示と同じです。
- チャンネルライブラリーは、ペアに設定されたチャンネルがL-MONO、R-MONO、または LR-MONOのいずれかに一時的にモノラル設定されていればモノラルでリコール/ストアされます。ペアとしてリコール/ストアはできません。
- CUEはこの一時的なモノラル設定に関係なくペアのオン/オフ設定により動作します。(ソフトウェアバージョン V1.3 と同様) ペアがオンの場合、この一時的なモノラル設定に関係なくペア設定されたチャンネルのCUEと同じ動作をします。CUE オン/オフはL/Rチャンネルが連動し、PFLの場合にはLチャンネルの信号はL側CUEバスに送られRチャンネルの信号はR側CUEバスに送られます(ステレオでCUEされます)。AFLの場合にはペアされたチャンネルのCUEと同じです。L-MONOがR-MONOに一時的にモノラル設定した場合、どちらかのチャンネルをオフすると、片側のチャンネルはCUEバスに送られません。
- リコールセーフは、一時的なモノラル設定に関係なくペアのオン/オフ設定により動作します。なお、片方のチャンネルのみリコールセーフされている状態でモノラル設定したチャンネルのシーンをリコールした場合、リコールセーフ設定しているパラメーターがチャンネルに含まれていても解除を知らせる

ワーニングメッセージを表示してからペアは解除されます。リコールセーフしていないチャンネルのみリコールされます。L-MONO 設定の場合は R チャンネルがリコールされると、そのチャンネルはオフの状態でもリコールされます。また R-MONO 設定の場合は Lチャンネルがリコールされると、そのチャンネルはオフの状態でもリコールされます。

- チャンネルライブラリーNo.00をリコールした場合、この一時的なモノラル設定ではペアされていないチャンネルと同じになります。つまり、PANモードはそのまま、PAN/BALANCEがCENTERになります。ペアされているチャンネルは、PANモードが強制的にINDIVIDUALに変更されソフトウェアバージョン V1.30と同じ動作をします。
- フェードタイムは、この一時的なモノラル設定に関係なくペアのオン/オフ設定により動作し、ペア設定時、二つのチャンネルのフェードタイムは連動します。
- インサートオン/オフ、インサートポイント、ダイレクトポイントは、L-MONO/R-MONO/LR-MONOのいずれの一時的なモノラル設定でもL/R個別に設定できるようになります。(この設定はシーンメモリーにストアされます。)
- L-MONO、またはR-MONO設定で強制的にオフにされているチャンネル(L-MONOの時にはRチャンネル、R-MONOの時にはLチャンネル)にチャンネルライブラリーをリコールした場合、リコールされたチャンネルは強制的にオフになります。
- GATEやCOMPのKEYINリンクは、この一時的なモノラル設定では、いずれの設定でも変更されません。LINKオンされるのはモノラルをペアに変更した場合のみです。ペアからモノラルの設定変更ではLINKオフにはなりません。

PAN を変更した場合:

		PAN <sup>1</sup> BALANCE	BALANCE PAN <sup>1</sup>
MONO モード		・ BALANCE はCENTERとなる。 <sup>2</sup> ・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに入る PAN も BALANCE に変わり、CENTER となる。 ・ Lチャンネルの PAN は左振りきり、Rチャンネルの PAN は右振りきりとなる。 <sup>2</sup> ・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに入る BALANCE も PAN に変わり上記同様 PAN が左右に振られる。	
PAIR モード	PAIR		
	L-MONO		
	R-MONO		
	LR-MONO		

1: PAN とは、INDIVIDUAL PAN ,GANG PAN INVERTED GANG PAN のいずれかの PAN MODE のこと。  
 2: 画面で PAN MODE を変更した場合の動作であって、シーンリコールで変更された場合は PAN/BALANCE のストア設定に従う。

PAIR を変更した場合:

		ペアの解除 ペアの設定	ペア ペア解除
PAN <sup>1</sup>		・ PAN の設定はそのまま。	
BALANCE			

1: PAN とは、INDIVIDUAL PAN ,GANG PAN INVERTED GANG PAN のいずれかの PAN MODE のこと。

ペアのインプットチャンネル / ST IN チャンネル同士を一時的にモノラルに設定する

	ペア L-MONO	L-MONO ペア
PAN <sup>1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN の値、PAN MODE 設定は一時的に退避される。</li> <li>・ L/R チャンネルの PAN は CENTER となる。 <sup>2</sup></li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN も CENTER となる。</li> <li>・ R チャンネルの ON/OFF が OFF になり ON にできない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN/BALANCE の値、PAN MODE はペアされていた設定に戻る。 <sup>2</sup></li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN も PAN または BALANCE に変わり、退避されていた TO ST の PAN の値と同じ値になる。</li> <li>・ PAN 以外の R チャンネルのパラメーターは L チャンネルと同じ設定になる。 <sup>3</sup></li> </ul>
BALANCE	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/R チャンネルの BALANCE の値、PAN MODE は一時的に退避される。</li> <li>・ L/R チャンネルの PAN は CENTER となる。 <sup>2</sup></li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する BALANCE も PAN に変わり、CENTER となる。</li> <li>・ R チャンネルの ON/OFF が OFF される。(ON できない。)</li> <li>・ PAN MODE が INDIVIDUAL PAN になる。</li> </ul>	

- 1: PAN とは、INDIVIDUAL PAN ,GANG PAN INVERTED GANG PAN のいずれかの PAN MODE のこと。  
 2: 画面 / パネルで PAIR の設定を変更した場合の動作でシーンリコールで変更した場合は PAN/BALANCE のストアの状態に従う。  
 3: パラメーターとは、PAIR された場合に連動するパラメーターである。

	ペア R-MONO	R-MONO ペア
PAN <sup>1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN の値、PAN MODE は一時的に退避される。</li> <li>・ L/Rチャンネルの PAN は CENTER となる <sup>2</sup></li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN も CENTER となる。</li> <li>・ L チャンネルの ON/OFF が OFF になり ON できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN/BALANCE の値、PAN MOD はペアされていた設定に戻る。 <sup>2</sup></li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN も PAN または BALANCE に変わり、退避されていた TO ST の PAN の値と同じ値になる。</li> <li>・ PAN 以外の L チャンネルのパラメーターは R チャンネルと同じ設定になる。 <sup>3</sup></li> </ul>
BALANCE	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/R チャンネルの BALANCE の値、PAN MODE は一時的に退避される。</li> <li>・ L/R チャンネルの PAN は CENTER となる。 <sup>2</sup></li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する BALANCE も PAN に変わり、CENTER となる。</li> <li>・ L チャンネルの ON/OFF が OFF される。(ON できない。)</li> <li>・ PAN MODE が INDIVIDUAL PAN になる。</li> </ul>	

- 1: PAN とは、INDIVIDUAL PAN ,GANG PAN INVERTED GANG PAN のいずれかの PAN MODE のこと。  
 2: 画面 / パネルで PAIR の設定を変更した場合の動作でシーンリコールで変更した場合は PAN/BALANCE のストアの状態に従う。  
 3: パラメーターとは、PAIR された場合に連動するパラメーターである。

	ペア LR-MONO	LR-MONO ペア
PAN <sup>1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN の値、PAN MODE は一時的に退避される。</li> <li>・ L/R チャンネルの PAN は CENTER となる。 <sup>2</sup></li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN も CENTER となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN/BALANCE の値、PAN MODE はペアされていた設定に戻る。 <sup>2</sup></li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN も PAN または BALANCE に変わり、退避されていた TO ST の PAN の値と同じ値になる。</li> <li>・ PAN 以外の R チャンネルのパラメーターは L チャンネルと同じ設定になる。 <sup>3</sup></li> </ul>
BALANCE	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/R チャンネルの BALANCE の値、PAN MODE は一時的に退避される。</li> <li>・ L/R チャンネルの PAN は CENTER となる。 <sup>2</sup></li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する BALANCE も PAN に変わり、CENTER となる。</li> <li>・ PAN MODE は INDIVIDUAL PAN になる。</li> </ul>	

- 1: PAN とは、INDIVIDUAL PAN ,GANG PAN INVERTED GANG PAN のいずれかの PAN MODE のこと。  
 2: 画面 / パネルで PAIR の設定を変更した場合の動作でシーンリコールで変更した場合は PAN/BALANCE のストアの状態に従う。  
 3: パラメーターとは、PAIR された場合に連動するパラメーターである。

	L-MONO ペア解除 R-MONO ペア解除 LR-MONO ペア解除	ペア解除 L-MONO ペア解除 R-MONO ペア解除 LR-MONO
PAN <sup>1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN の設定、PAN MODE は変わらない。</li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN の設定もそのまま。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この操作は無効です。</li> </ul>
BALANCE	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/R チャンネルの BALANCE の設定、PAN MODE は変わらない。</li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN の設定もそのまま。</li> </ul>	

- 1: PAN とは、INDIVIDUAL PAN ,GANG PAN INVERTED GANG PAN のいずれかの PAN MODE のこと。

	L-MONO R-MONO	R-MONO L-MONO
PAN <sup>1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN の設定、PAN MODE は変わらない。</li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN の設定も変わらない。</li> <li>・ Rチャンネルの ON/OFF は Lチャンネルと同じ設定になり、Lチャンネルの ON/OFF は OFF となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN の設定、PAN MODE は変わらない。</li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN の設定も変わらない。</li> <li>・ Lチャンネルの ON/OFF は Rチャンネルと同じ設定になり、Rチャンネルの ON/OFF は OFF となる。</li> </ul>
BALANCE	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの BALANCE の設定、PAN MODE は変わらない。</li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX BUS に対する PAN の設定もそのまま。</li> <li>・ Rチャンネルの ON/OFF は Lチャンネルと同じ設定になり、Lチャンネルの ON/OFF は OFF となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの BALANCE、PAN MODE は変わらない。</li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN の設定も変わらない。</li> <li>・ Lチャンネルの ON/OFF は Rチャンネルと同じ設定になり、Rチャンネルの ON/OFF は OFF となる。</li> </ul>

1: PAN とは、INDIVIDUAL PAN ,GANG PAN INVERTED GANG PAN のいずれかの PAN MODE のこと。

	L-MONO LR-MONO	R-MONO LR-MONO
PAN <sup>1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN の設定、PAN MODE は変わらない。</li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN の設定も変わらない。</li> <li>・ Rチャンネルの ON/OFF は Lチャンネルと同じ設定になり、Lチャンネルの ON/OFF は変わらない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN の設定、PAN MODE はそのまま。</li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN の設定も変わらない。</li> <li>・ Lチャンネルの ON/OFF は Rチャンネルと同じ設定になり、Rチャンネルの ON/OFF は変わらない。</li> </ul>
BALANCE	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN(BALANCE) 設定、PAN MODE はそのまま。</li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN の設定もそのまま。</li> <li>・ Rチャンネルの ON/OFF は Lチャンネルと同じ設定になり、Lチャンネルの ON/OFF は変わらない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN(BALANCE) の設定、PAN MODE は変わらない。</li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN の設定も変わらない。</li> <li>・ Lチャンネルの ON/OFF は Rチャンネルと同じ設定になり、Rチャンネルの ON/OFF は変わらない。</li> </ul>

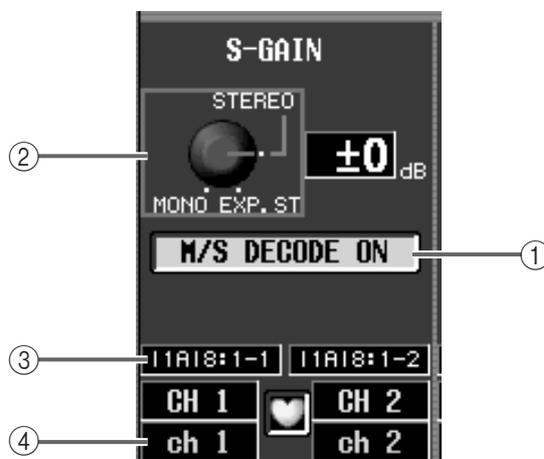
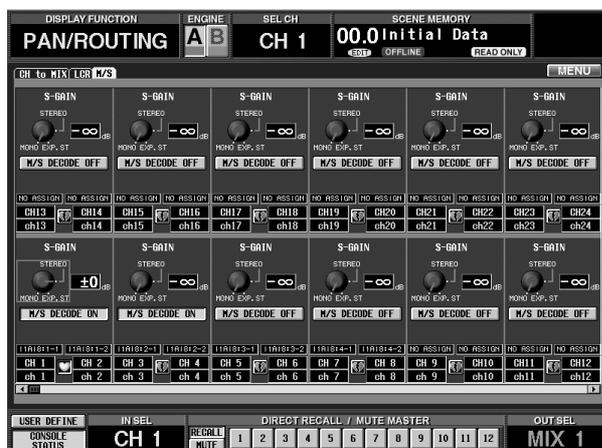
1: PAN とは、INDIVIDUAL PAN ,GANG PAN INVERTED GANG PAN のいずれかの PAN MODE のこと。

	LR-MONO L-MONO	LR-MONO R-MONO
PAN <sup>1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN の設定、PAN MODE は変わらない。</li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN の設定も変わらない。</li> <li>・ Rチャンネルの ON/OFF は OFF され、Lチャンネルの ON/OFF は変わらない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN の設定、PAN MODE は変わらない。</li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN の設定も変わらない。</li> <li>・ Lチャンネルの ON/OFF は OFF され、Rチャンネルの ON/OFF は変わらない。</li> </ul>
BALANCE	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN(BALANCE) の設定、PAN MODE は変わらない。</li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN の設定も変わらない。</li> <li>・ Rチャンネルの ON/OFF は OFF され、Lチャンネルの ON/OFF は変わらない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ L/Rチャンネルの PAN(BALANCE) の設定、PAN MODE は変わらない。</li> <li>・ ペアされかつ VARI TYPE の MIX バスに対する PAN の設定も変わらない。</li> <li>・ Lチャンネルの ON/OFF は OFF され、Rチャンネルの ON/OFF は変わらない。</li> </ul>

1: PAN とは、INDIVIDUAL PAN ,GANG PAN INVERTED GANG PAN のいずれかの PAN MODE のこと。

## M/S デコード機能

奇数 / 偶数の順に並んだインプットチャンネルで、MS マイクから入力された 2 チャンネルの信号を L/R の信号に変換する、M/S デコード機能が利用できるようになりました。



- ① M/S DECODE ON/OFF  
(M/S デコードオン/オフ)ボタン

奇数 偶数の順に並んだ2チャンネル(またはステレオインプットチャンネル)単位で、M/S デコード機能のオン/オフを切り替えます。ステレオペアに設定されていないチャンネル同士でも、M/S デコード機能をオンに設定できます。

- ② S-GAIN(S ゲイン)ノブ

Mマイクのレベルを基準に、Sマイクのレベル比を設定します。現在の値は、右側の数値ボックスで確認できます。

MONO の位置で S マイクのレベルが -、EXP.ST の位置で S マイクのレベルが + 10dB となります。

また、STEREO の位置では、M マイクと S マイクのレベルが均等になります。

- ③ ユニットの種類 / ID 番号 / チャンネル番号

それぞれのチャンネルに割り当てられた入力用ユニットの種類と ID 番号、および入力端子のチャンネル番号を表示します。

- ④ チャンネル / ペア設定

現在表示されているインプットチャンネルの番号とペアの設定状態を表示します。ハートのマークをクリックして、この画面でペアの設定 / 解除を行うことも可能です。

### 【操作手順】

以下の手順で MS マイクの入力信号をデコードできます。

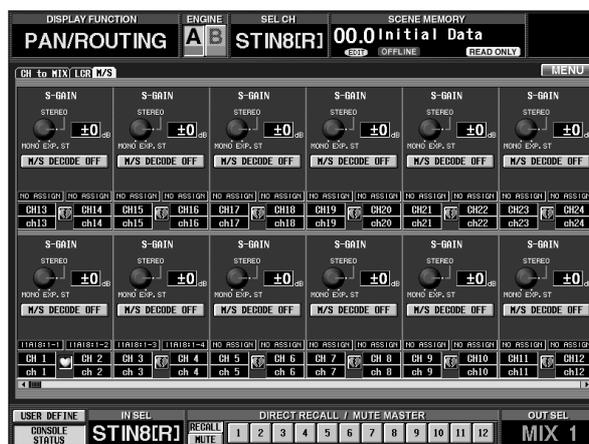
1. インプットユニットの 2 チャンネルに MS マイクを接続し、奇数 / 偶数の順に並んだインプットチャンネルに割り当ててください。

M マイクは奇数(L)チャンネル、S マイクは偶数(R)チャンネルに割り当てます。

2. 必要ならば、上記の 2 チャンネルをペアに設定してください。

⚠ M/S デコード機能は、インプットチャンネル同士をペアに設定しなくても利用できます。

3. PAN/ROUTING ファンクションの M/S 画面を呼び出してください。



4. 該当する 2 チャンネルの M/S DECODE ON/OFF ボタンをクリックし、オンに切り替えてください。



これで奇数(L)チャンネルには(M + S)の信号、偶数(R)チャンネルには(M - S)の信号(M信号に逆位相のS信号を加えたもの)が入力されます。

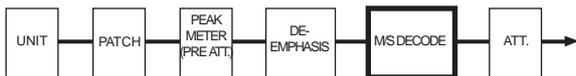
⚠ M信号またはS信号のどちらか一方のみがインプットチャンネルにパッチされている場合でも、M/S DECODEをオンにすると、両方のチャンネルに信号が送られます。

5. S-GAINノブにカーソルを合わせ、[ DATA ]エンコーダーを回して、Mマイクに対するSマイクのレベル比を調節してください。

MONOの位置でS = -、STEREOの位置でM = S、EXP.STの位置でS = + 10dBとなります。

⚠ M/Sデコード処理は、DE-EMPHASIS直後、ATT.(アッテネーター)直前の位置で行われます。このため、M/Sデコードがオンのとき、次の各メーターにはM/Sデコード前の信号レベルが表示されますので、ご注意ください。

- HA/INSERTファンクションの画面に表示されるインプットユニットのメーター
- METERファンクションでMETERING POINTをPRE ATTにしたときの、画面/パネルのメーター
- INPUT UNIT画面(SYS/W.CLOCKファンクション)に表示されるインプットユニットのメーター

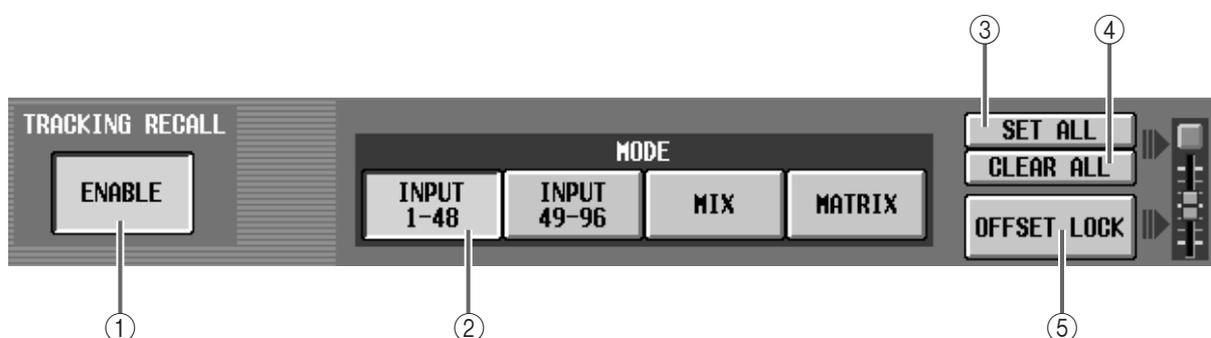


⚠ M/Sデコード処理前に約18dBのヘッドマージンが確保されます。M/Sデコード機能を使用中に信号がクリップした場合、ヘッドマ - ジン以下のクリップならアッテネーターでレベルを下げクリップしない信号を入力できます。

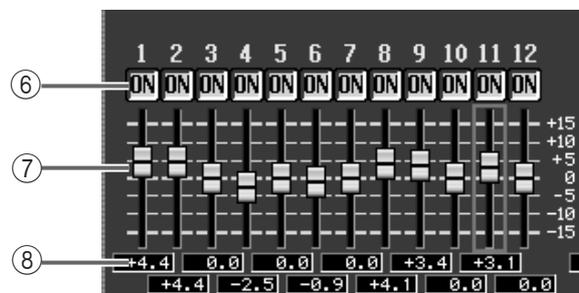
⚠ M/Sデコード機能は特殊な機能なので、チャンネルコピーやチャンネルライブラリーへの保存はできません。またCHANNEL PAIRINGポップアップウィンドウのRESET BOTHボタンも無効です。

## トラッキングリコール機能

シーンをリコールするときに、各フェーダーの値にあらかじめ設定しておいたオフセット値を加える“トラッキングリコール機能”が追加されました。一時的に特定のチャンネルのフェーダーを微調整したいときなど、このトラッキングリコール機能を使えば、シーンリコールするたびに設定したオフセット値が自動で設定されていきます。



- ① TRACKING RECALL(トラッキングリコール)ボタン  
トラッキングリコールのオン/オフを切り替えるボタンです。ENABLEと表示される時(ボタンが緑色に変わります)に、トラッキングリコールがオンになります。
- ② MODE(モード)ボタン  
トラッキングリコールの設定を行うチャンネルのグループ(インプットチャンネル1~48、インプットチャンネル49~96、MIXチャンネル、MATRIXチャンネル)を選択します。選択したボタンに応じて、画面に表示されるチャンネルが変わります(ただし、STEREO A/B、DCAはMODEボタンの設定にかかわらず、常時表示されます)。



- ③ SET ALL(セットオール)ボタン  
このボタンをオンにすると、すべてのチャンネル(現在画面上に表示されていないチャンネルを含む)でONボタン(⑥)が有効となり、トラッキングが設定されます。
- ④ CLEAR ALL(クリアオール)ボタン  
このボタンをオンにすると、すべてのチャンネル(現在画面上に表示されていないチャンネルを含む)でONボタン(⑥)が無効となり、トラッキングが解除されます。
- ⑤ OFFSET LOCK(オフセットロック)ボタン  
このボタンをオンにすると、すべてのチャンネル(現在画面上に表示されていないチャンネルを含む)でスライダーがグレー表示となり、それ以上オフセット値を変更できなくなります。

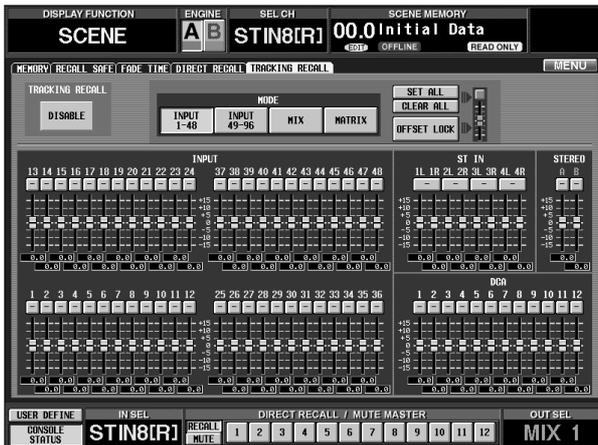
- ⑥ ON(トラッキングオン)ボタン  
チャンネルごとにトラッキングの設定/解除を行うボタンです。TRACKING RECALL ボタンがENABLEに設定されているときに、このボタンがONと表示されるチャンネルでトラッキングが有効となります。
- ⑦ フェーダー  
トラッキングが有効なときのオフセット値を、±15dBの範囲でチャンネルごとに設定するフェーダーです。
- ⑧ オフセット値  
チャンネルごとのオフセット値を表示します。

## 【操作手順】

以下の手順でトラッキングリコール機能进行操作します。

1. SCENEファンクションのTRACKING RECALL画面を呼び出してください。

TRACKING RECALL 画面では、チャンネルごとのトラッキングのオン/オフ、およびトラッキングリコールをオンにしたチャンネルのオフセット値などを設定します。



2. MODE ボタン( INPUT 1-48、INPUT 49-96、MIX、MATRIX )を使って希望するチャンネルを画面に表示させてください。
3. トラッキングを利用したいチャンネルの ON ボタンをクリックしてください。

この時点でクリックしてオンにしたチャンネルのフェーダ位置が基準位置として記録されます。そのためオフセット値が 0 に設定されます。



画面右上の SET ALL/CLEAR ALL ボタンをクリックすれば、すべてのチャンネル( 現在画面上に表示されていないチャンネルを含む )でトラッキングの設定/解除が行えます。

4. トラッキングをオンにしたチャンネルのフェーダーを上下させ、オフセット値を設定してください。

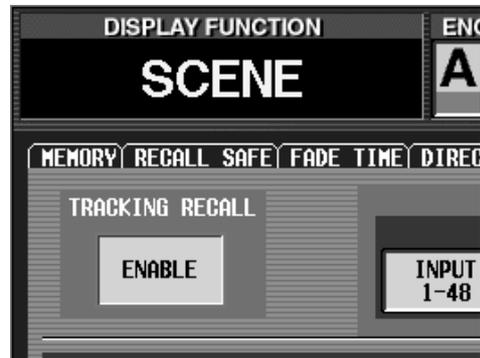
手順 3 で設定された基準位置からフロントパネル上のフェーダーを動かします。その移動幅がオフセット値として設定されます。また、画面内のスライダーを動かしてもオフセット値は設定できます。ただし画面内のスライダーで設定した場合はフロントパネル上のフェーダー位置は変わりません。

オフセット値は、- 15 ~ 0 ~ + 15dB の範囲に設定できます。なお、オフセット値を設定後、それ以降変更しない場合は画面内の OFFSET LOCK ボタンをオンにすると、スライダーがグレー表示となり、それ以上オフセット値を変更できなくなります。

- ⚠ LOCK中にフロントパネル上のフェーダーを動かした後、OFFSET LOCK を解除してもオフセット値は再設定されません。これは画面内でマニュアル操作で設定するために OFFSET LOCK を解除することがあるためです。OFFSET LOCK を解除後にフェーダーを動かすとトラッキングをリコールする

る前の操作手順 3 の基準位置( オフセット値が 0dB の位置 )から計算され、設定されます。

5. 画面左上の TRACKING RECALL ボタンをクリックし、ENABLE に切り替えてください。



この例では手順 5 でトラッキング機能を有効にしていますが TRACKING RECALL ボタンは常に操作可能です。

6. 任意のシーンをリコールしてください。

リコールしたシーンの各フェーダーの値に、手順 4 で設定したオフセット値が加算されます。



リコールセーフに設定されているチャンネルは、たとえトラッキングリコールがオンでもフェーダーは変化しません。オフセット値もそのままです。



TRACKING RECALL 欄の ENABLE ボタンがオフの場合、リコールしたフェーダーには設定したオフセット値は追加されません。OFFSET LOCK ボタンをオンにしなければ、リコール時にオフセット値は 0 に戻ります。特定のシーンを基準位置( オフセット 0 の位置 )にしたい場合は TRACKING RECALL の ENABLE ボタンをオフかつ OFFSET LOCK ボタンをオフにしてリコールしてください。

TRACKING RECALL 欄の ENABLE ボタンがオンの場合、リコールセーフに設定していないシーンをリコールするとトラッキング機能をオンにしたチャンネルはストアされていたシーンのフェーダー位置を基準にオフセット値が追加されフェーダーの位置はその計算値に一番近いフェーダーが取り得る値となります。



リコールにより新たにペアとなるチャンネルの場合、その二つのチャンネルの ON ボタンが二つともオンでなければオフセットはオフとされて、オフセット値が追加されることはありません。二つのチャンネル共に ON ボタンがオンの場合はオフセット値は両方の値の平均値となります。

- チャンネルライブラリーからリコールしたチャンネルは OFFSET LOCK ボタンがオフの場合、オフセット値は 0 になります。
- チャンネルコピーされたチャンネルは OFFSET LOCK ボタンがオフの場合、オフセット値もコピーされます。

 CS1Dの電源を一度切ってから、再び電源を入れた場合、安全のため TRACKING RECALL 欄の ENABLE ボタンはオフの設定になり、トラッキングリコール機能は無効となります。

